

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1959
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.52, No.6 (1959. 6) ,p.565(83)- 567(85)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	経済学関係文献目録; 経済学会報告会論題 ( 昭和三三年九月から昭和三四年一月まで ) を含む
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19590601-0083">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19590601-0083</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

行われつつある今日の段階では、いかに将来の見通しが困難であるかを感じさせる。(大学と就職二頁) 更に、高卒者の量的・質的面が、外国との比較において、論ぜられている。

このように、最終報告書は豊富な内容をもっているが、厳密な職務分類がえられないために、学歴構成と職務内容との関連を徹底的に究明できず、従って人的構成の最適標準が設定されず、合理的な需要総量の推定は完全には行なわれていない。「社会的要請に基づく教育計画立案のための調査」において今後に残されている課題は、先ず、職務分析から出発して、学歴と職務との関係をより一層明らかにすることであろう。

高卒就業者には、専攻学科を生かしていない者が含まれている。合理的な需要量を算定するには、これは除外しなくてはならない。この純需要量と供給量との過不足を将来数年間にわたってみると、理工科系は不足を、文科系は過剰を示している。過剰の絶対数では、法文経が圧倒的に多いが、その比率では、家政その他が首位を占める。全体的には、過剰の傾向がはっきりと出ている。(大学と就職九

四頁)。

現状からして、文部省調査局調査課がなした調査は、大きな意味をもっている。重要ではあるが、困難な問題を手掛けられたことには、敬意が払われなくてはなるまい。この調査は画一的な調査票によるものであり、高卒者を中心にするものである。これに対して、中卒者を対象として、事例的方法による職務と学歴の調査案が、統計研究会の教育経済研究会(主査寺尾琢磨教授)において検討されている。そこでは、職務分析を深めることによって、職務と学歴との関連を明らかにすることが企図されている。

教育計画においては、さし当り、供給面が考慮されるであろうが、需要面についても注意が向けられなくてはなるまい。需要面の改善は企業運営の合理化と結合してなされるべきである。学卒者の就職問題は深刻な様相を呈している。問題解決のためには、これら両面からする努力が必要とされる。多くの人々の努力によって、学卒者の需給問題が解決されることを期待したい。(青沼 吉松)

経済学関係文献目録

(昭和三十四年三月刊)

経済理論・学説・思想史

- \*ケインズ一般理論研究ノート 高橋泰蔵著 A5 二六七頁 四二〇円(春秋社)
- \*現代経済分析——限界分析とリニア・プログラミング——〈現代経済学シリーズ〉 稲田献一著 A5 一五〇頁 二〇〇円(弘文堂)
- \*マルクス経済学〈新経済学演習講座〉宇高基輔著 A5 三六〇頁 五六〇円(青林書院)
- \*経済成長の理論 E・D・ドーマ著 宇野健吾訳 A5 三一六頁 六〇〇円(東洋経済新報社)

統計・数学

- \*統計学入門 ウエ・エス・ネムチーフ著 野村良樹訳 B6 二一九頁 三三〇円(東洋経済新報社)

経済学関係文献目録

経済史・社会史・政治史

- \*二宮尊徳〈岩波新書〉奈良本辰也著 B40 一八四頁 一〇〇円(岩波書店)
- \*米騒動の研究1 井上清、渡部徹編 A5 五〇三頁 九五〇円(有斐閣)
- \*ローマ帝国衰亡史10 〈岩波文庫〉ギボン著 村山勇三訳 A6 四〇三頁 一六〇円(岩波書店)
- \*三井高利〈人物叢書〉中田易直著 B40 二九四頁 二二〇円(吉川弘文館)
- \*世界史大系 15 ロンヤ革命とヴェルサイユ体制 江口朴郎編 B6 四〇二頁 一四〇円(誠文堂新光社)
- \*明治史研究叢書第2期 1 明治権力の法的構造 明治史料研究連絡会編 B6 三〇〇頁 二五〇円(御茶の水書房)
- \*フランス農村史の基本性格〈名著翻訳叢書〉マルク・ブロック著 河野健二、飯沼二郎訳 A5 八三九頁 八〇〇円(創文社)
- \*資本制生産に先行する諸形態〈青木文庫〉カール・マルクス著 岡崎次郎訳 A6 八七頁 五〇円(青木書店)

財政・金融

- \*新稿近代財政学 井手文雄著 A5 四六三頁 六〇〇円(税務経理協会)
- \*内部報告制度〈経営管理全書〉猪狩知之進、田中義郎、畠山芳雄、吉村司郎、戸村晴秋、光山治雄編 A5 三八〇頁 四八〇円(日本経済新聞社)
- \*現代経営学 坂本藤良著 A5 四四五頁 六九〇円(中央経済社)
- \*資金計画〈経営管理全書〉染谷恭次郎著 A5 二七五頁 三六〇円(日本経済新聞社)
- \*経営計画の諸問題 日本経営学会編 A5 二四一頁 四〇〇円(森山書店)
- \*新しい経営学 その体系と用語の解説 日本証券投資協会PR編集部編 A5 二九五頁 五六〇円(中央経済社)
- \*経営近代化のための経営者の知識 古川栄一著 B6 二三四頁 二八〇円(経林書房)
- \*積極経営を語る 伸び悩む中小企業のために 森川覚三著 B40 一八〇頁 一二〇円(日本能率協会)
- \*現代のビジネス・システム——新しい経営

の生成と発展 T・C・コクラン著 中川  
敬一郎訳 B 6 二九四頁 三五〇円(東  
京出版K)

\*機械はどこまで人間に代るか——オートメ  
ーションのはなし——へマネジメント・ラ  
イブラリー 小山博敏著 B 40 二二〇頁  
一五〇円(白桃書店)

\*産業経済論 麻生平八郎著 A 5 二二七  
頁 四四〇円(泉文堂)

\*経理監査と税務監査 佐野賀一、舛田精一  
著 A 5 二四二頁 三五〇円(税務新聞  
社)

\*経営計画(経営工学選書2) 小林靖雄著  
A 5 二五七頁 四五〇円(金原出版K  
K)

\*経営学史 坂本藤良著 B 6 小 三六〇頁  
三三〇円(ダイヤモンド社)

\*工業経営総論 桐淵勘蔵編 A 5 三四五  
頁 四五〇円(日刊工業新聞社)

\*体系経営分析 国弘員人著 A 5 三二〇  
頁 六〇〇円(ダイヤモンド社)

\*実践会計学 太田哲三著 A 5 三八四頁  
五八〇円(白桃書店)

\*日本の鉄鋼産業(産業シリーズ2) 政治経  
済研究所編 B 6 二二九頁 三〇〇円  
(東洋経済新報社)

\*日本絹人絹織物史 日本絹人絹織物史刊行  
会編 B 5 六四〇頁 二五〇〇円(婦人  
画報社)

\*中小企業の経営指標 総合編 昭和三四年  
版 中小企業庁編 B 5 三三七頁 六五  
〇円(中小企業診断協会)

\*電気事業の内幕(企業研究叢書1) 細川進  
一著 B 6 三〇〇頁 三〇〇円(国際日  
本協会)

\*日本の自動車——トヨベット成長史——  
山本直一著 B 6 三〇四頁 三八〇円  
(東京創元社)

### 農業・林業・水産業

\*戦後日本農民運動史 上(三一新書) 山口  
武秀著 B 40 二二〇頁 一五〇円(三一  
書房)

\*農業の経営と計画——家族農業の経営——  
S・E・ジョンソン著 桜井豊、沢口信光、  
山口哲夫訳 A 5 二九二頁 四八〇円  
(明文堂)

\*アメリカ農民と第三政党 A・ロチエスタ  
一著 山岡亮一、東井正美訳 B 6 一六  
二頁 二二〇円(有斐閣)

\*農業問題の経済学 井上竜夫著 A 5 二  
四三頁 二二〇円(有斐閣)

四三頁 三五〇円(大明堂)

\*酪農の経営経済 西山太平著 A 5 二四  
七頁 四八〇円(明文堂)

\*林業経済計画総論 野村進行著 A 5 四  
〇七頁 六五〇円(朝倉書店)

\*漁業経済概論 近藤康男著 A 5 二五〇  
頁 三八〇円(東京大学出版会)

### 労働・社会問題

\*労働組合の構造と機能 大河内一男、氏原  
正治郎、藤田若雄編 A 5 六三九頁 九  
〇〇円(東京大学出版会)

\*産業別賃金体系——実態と分析—— 内外  
労働経済研究会編 A 5 二八三頁 五五  
〇円(至誠堂)

\*社会保障(日経文庫) 日本経済新聞社編  
B 40 二〇三頁 一三〇円(日本経済新聞  
社)

\*明治文化全集 16 婦人問題篇 明治文化  
研究会編 A 5 四一三頁、一二〇〇円  
(日本評論新社)

\*生活費(三一新書) 森喜一著 B 40 二四  
九頁 一七〇円(三一書房)

## 日本経済

### 日本経済

\*外から見た日本経済(アルプス・シリーズ)  
大来多三郎著 B 6 五二頁 五〇円(商  
工財務研究会)

\*転機における日本経済 社会主義政治経済  
研究所編 A 5 四一三頁 五〇〇円(中  
央公論社)

\*日本経済四季報 24 一九五八年—四 日  
本経済調査会編 B 6 一七八頁 二五〇  
円(大月書店)

### 世界経済・貿易・海外事情

\*ニグロ(三一新書) 雪山慶正著 B 40 二  
四六頁 一七〇円(三一書房)

\*マラヤと日本——A・A・の経済——日本  
経済新聞社編 B 40 一九三頁 一五〇円  
(日本経済新聞社)

\*現代資本主義講座 5 現代資本主義の世  
界体制 有沢広巳、小椋広勝、都留重人、  
豊崎稔、名和統一、松井清編 A 5 三〇  
九頁 三三〇円(東洋経済新報社)

### 経済学関係文献目録

5 三七六頁 七五〇円(青木書店)

\*国際貿易と経済発展(現代経済学選書)  
ヤコブ・ヴァイナナー著 相原光訳 B 6  
一六五頁 二二〇円(巖松堂出版KK)

\*経済理論と低開発地域 G・ミューダール  
著 小原敬士訳 B 6 二一四頁 三二〇  
円(東洋経済新報社)

### 政治学・社会学・社会思想

\*福沢論吉全集 2 富田正文、土橋俊一編  
A 5 六八七頁 一四〇〇円(岩波書店)

\*講座近代思想史 3 理性と啓蒙の時代1  
金子武蔵、大塚久雄編 二八三頁 三〇〇  
円(弘文堂)

\*現代思想入門 清水幾太郎著 B 6 三三  
二頁 三五〇円(岩波書店)

\*レーニン全集31 上製 マルクス・レーニ  
ン主義研究所訳 B 6 六〇六頁 七五〇  
円(大月書店)

\*政治——動態分析——(岩波現代叢書) H  
・D・ラスウェル著 久保田きぬ子訳 B  
6 二一〇頁 二二〇円(岩波書店)

\*近代社会と法 川島武宜著 A 5 二七〇  
頁 三八〇円(岩波書店)

\*河上肇(近代日本の思想家9) 古田光著

B 6 二六四頁 二八〇円(東京大学出版  
会)

\*講座近代思想史 4 理性と啓蒙の時代2  
金子武蔵、大塚久雄編 A 5 三七一頁  
三〇〇円(弘文堂)

\*現代マルクス主義論 長洲一二著 A 5  
二六九頁 三五〇円(弘文堂)

\*都市社会学研究 磯村英一著 A 5 三五  
八頁 七五〇円(有斐閣)

\*現代社会心理学 4 大衆現象の心理 戸  
川行男編 A 5 二五九頁 三八〇円(中  
山書店)

### 年鑑・辞典

\*地方公営企業年鑑 4 自治庁編 B 5  
三二〇頁 一〇〇〇円(地方財務協会)

\*新撰社会辞典 樺俊雄編 規外 三五〇  
頁 四五〇円(中央経済社)

\*経済学文献季報 11 一九五八 経済資料  
協議会編 B 5 一九四頁 六〇〇円(有  
斐閣)

\*日本経済史第四文庫 本庄栄治郎編 A 5  
八七九頁 一八〇〇円(日本評論新社)